

平成28年度の取組概要

平成29年7月

総合政策局総務課(総合交通体系)
(併)政策統括官付

平成28年度の検討項目・実施内容

検討項目

実施内容

①歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案の改訂

- ・ 障害者団体へのヒアリング・現地立会による仕様の検証
- ・ データ整備者やデータ利用者へのヒアリング等による仕様の検証
- ・ 仕様の改訂版に基づくサンプルデータの作成
- ・ 仕様の簡素化に伴う多様な主体によるデータ整備の可能性の検証(データソン)
- ・ 歩行空間ネットワークデータ、施設データの仕様の改訂

②オープンデータを活用した歩行者移動支援の取組に関するガイドラインの改訂

- ・ ガイドライン改訂の方針を踏まえ、①施策の意義、②知見・ノウハウ、③サービス事業者への留意点等を追記
- ・ 歩行者移動支援サービスやオープンデータに関する先行事例について、事例集としてとりまとめ

③歩行者移動支援サービスに関するデータサイトの改修

- ・ データサイト利用者の利便性の向上、データサイトの質の向上、データサイトの管理の高度化の観点から、データサイトを改修(機能追加)
- ・ データサイトに掲載しているデータ・リンクの充実

④歩行空間ネットワークデータ等の整備・更新手法の効率化

- ・ 一般の方を対象としたデータソン(歩行空間ネットワークデータの作成)の実施
- ・ データ整備ツール(試行版)の作成
- ・ 住民投稿型サービスを運営している団体等へのヒアリング
- ・ 歩行空間ネットワークデータ等の整備・更新手法の効率化について検討

①歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案の改訂

○ 歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案について、①整備省力化、②利便性向上、③利用シーン拡大、④継続的整備の4つの視点から、情報項目や属性情報等の見直しを実施した。

仕様案改訂の視点

① 整備省力化の視点

全国で広く歩行空間ネットワークデータの整備を推進するため、データ整備・更新の省力化に向けた簡素化・効率化を図る。

② 利便性向上の視点

歩行者移動支援サービスの対象者が必要とする情報の重要度を考慮し、バリアフリーの観点から必要不可欠なデータ項目を絞り込み、データ整備を促進する。

③ 利用シーン拡大の視点

民間団体等が整備を進める歩行者向けネットワークデータへの活用や既存のナビゲーションアプリ等を提供するサービスに活用できるよう検討し、データの活用範囲の拡大を図る。

④ 継続的整備の視点

歩行空間ネットワークデータの各情報項目の重要度に応じて段階的な整備を進めることにより、全国普及を推進する。また、データは将来的な拡張や高度なサービス出現を想定し、データ項目の追加等に対応可能な仕様として設計する。

検討内容

歩行空間ネットワークデータ整備仕様案の改訂

施設データ整備仕様案の改訂

改訂内容

- 情報項目の構造(第1層～第3層)を新たに定義
- 第1層(必須)の情報項目について、属性情報をカテゴリ一化 等

- 施設の種類を細分化
- バリアフリー設備に関する情報項目を充実
- 出入口情報を施設データに統合 等

- 歩行者移動支援サービスの普及促進に向けて、ガイドラインを活用しやすいものとするため、①施策意義の充実、②知見・ノウハウの充実、③サービス事業者への留意点の3つの観点からガイドラインの改訂を行った。

ガイドライン改訂のポイント

①施策意義の充実

- 地方公共団体等が歩行者移動支援サービスに向けた取組を開始するきっかけとなるように社会的背景を踏まえて施策の必要性や重要性を記載。

②知見・ノウハウの充実

- オープンデータや歩行者移動支援サービスに関し先進的な取組を実施している地区のノウハウや参考となる知見を記載。
- 全国の各地区の事例を事例集として整理。

③サービス事業者への留意点

- オープンデータを活用したサービスを提供する主体に向けた配慮すべき事項や既存サービスとの連携によるサービスの高度化等について記載。

『オープンデータを活用した歩行者移動支援の取組に関するガイドライン』の改訂

③歩行者移動支援サービスに関するデータサイトの改修

○ 歩行者移動支援サービスにおけるオープンデータの利活用の促進に向けて、①データサイト利用者の利便性の向上、②データサイトの質の向上、③データサイトの管理の高度化の3つの観点から、歩行者移動支援に関するデータサイトの改修(機能追加)を行った。

改修方針

改修項目(機能追加)

①データサイト利用者の利便性の向上

- データサイト内のデータの検索やダウンロードを容易にできるようにし、データサイト利用者の利便性の向上を図る。

- データ検索機能
- 一括ダウンロード機能
- 地図表示機能

②データサイトの質の向上

- 利用者からの問合せフォームを設置し、本データサイトや提供データに対する問合せ・要望を受け付け、データサイトの質の向上を図る。
- 他のデータカタログサイト等との連携により、他のデータサイトにて提供されている多様なデータのメタデータを取得できるようにする。

- 問合せ・要望受付機能
- 他のWebサイトとの連携機能

③データサイトの管理の高度化

- データサイト内のデータについてメタデータを登録・修正することができるようにし、データの管理の高度化を図る。
- データサイト内のリンクについて、リンク情報の変更がないか管理する。

- メタデータ管理機能
- リンク状況の管理機能
- カウンター機能 等

④歩行空間ネットワークデータ等の整備・更新手法の効率化

○ 歩行空間ネットワークデータ等の整備・更新手法の効率化について、①データソンの実施、②データ整備ツール(試行版)の作成、③住民投稿型サービスの運営団体等へのヒアリングの3項目を実施し、多様な主体によるデータ整備・更新の有効性を確認した。

実施内容

確認項目

①データソンの実施

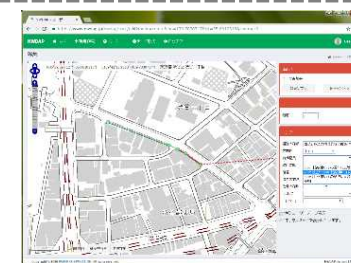
- ボランティア等により整備されたデータの精度、個人差等を検証し、歩行者移動支援サービスへの有効性を確認。
- データソンで使用したデータ整備ツール(試行版)に求められる機能や操作性を確認。
- データソン参加者へのアンケート調査等によりデータ整備に参加するインセンティブを確認。



データソンの実施状況

②データ整備ツール(試行版)の作成

- ボランティア等にツールを試験的に利用してもらい、ツールの機能や操作性を確認。
- 歩行空間ネットワークデータをタブレット端末等を利用し簡易に作成可能なデータ整備ツール(試作版)を作成。



データ整備ツール(試行版)の画面構成

③住民投稿型サービスの運営団体等へのヒアリング

- ボランティア等のデータ整備者に継続的な参加を促すための工夫点・インセンティブの付与の仕方等を確認。
- 継続的に住民投稿型サービス運営するための工夫点やデータの信頼性確保に関する取組みを確認。



多様な主体によるデータ整備・更新の有効性を確認